

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	中学生検定料補助事業費	担当課	教育課
事業内容(簡潔に)	英語検定料の全額助成		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり	
	政策	やさしさと思いやりを育み、楽しく学べるまちづくり	
	施策	学校教育の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	葦崎市立中学生検定料助成金交付要綱

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	生徒の学力の水準や学習に対する意識・意欲の向上を図るとともに、保護者の教育に係る経済的負担の軽減を図る。
事業の手段	提出された申請書を審査し、補助該当世帯の保護者に対し、検定料の金額を随時支給する。 《検定料》 本会場 3級：6,400円、準2級：7,900円、2級：8,400円 準会場（学校・塾）3級：4,700円、準2級：5,700円、2級：6,400円
事業の対象	対象者：市内中学校在籍生徒の保護者 対象検定：実用英語技能検定（英検）の3級以上（生徒1人につき当該年度1等級1回）

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	292	218	279
財源内訳	国・県支出金	80	50	
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	212	168	279
B	担当職員数(職員E) (人)	0.03	0.03	0.03
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	201	197	197
D	総事業費(A+C) (千円)	493	415	476
主な事業費用の説明	検定料補助金 R1、R2:県補助有(中3生のみ1人1回限り) 補助率1/2			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 対象者(人)	市内中学校在籍者	758	748	744
	2 申請者(人)	3級	46	34	32
		準2級 2級	19 3	14 0	14 4
3 3級以上の受験者数	学校での受験者数(延べ人数)	119	82	112	
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	市内中学校に在籍している生徒全員が対象(区域外就学者含む)であり、全保護者へチラシを配布し周知している。			
	2	英語検定は、全国共通の指標と問題により実施されるもので、実用性も高いため、生徒の英語力向上を図るために適切な検定であり、合格に向けての取り組みと合否結果は、生徒の学習意欲の喚起に繋がるものとする。			
	3	全体受験者数を把握できないため、学校での受験者数を記載。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	申請率 (%)	9.0 (68/758)	6.4 (48/748)	6.7 (50/744)
	2	3級以上受験率 (%)	15.7 (119/758)	11.0 (82/748)	15.0 (112/744)
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	英語検定者数に対する申請率は不明だが、引き続き制度の周知を行っていく必要がある。			
	2	学校以外（塾など）での受験者は不明だが、学校を通じて対象者へ周知を図っていく必要がある。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大（コストを集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善（事務的な改善を実施する） <input type="checkbox"/> 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） <input type="checkbox"/> 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） <input type="checkbox"/> 廃止（廃止の検討が必要）				
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どのような形で具体化するのか）				
	令和4年度の改善計画（今後の事業展開説明） ・補助を希望する家庭が漏れなく申請ができるよう、広報・HPに掲載し、より一層の周知を図る。 ・学年相当級を越える受験者も含め、自主学習の成果を試す機会として、多くの生徒が受験できるよう学校と連携し、英語力向上を図る。				
改善の経過	・交付申請と助成金の請求といった事務手続きについて、運用により保護者の負担軽減を図った。（令和4年度～）				
直近の評価結果	内部評価	令和2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の改善案	・補助を希望する家庭が漏れなく申請できるよう、申請率の低い原因を分析し、より一層の周知を図る。 ・学年相当級を越える受験者も含めて、自主学習の成果を試す機会として、多くの生徒が受験できるよう引き続き学校と連携し、英語力向上を図る。			
	外部評価	令和2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の対応	引き続き周知に努めるとともに、申請手続きの改善について学校と協力しながら検討していく。			
課長所見	・グローバル社会に生きる生徒に求められる英語による発信力を向上させるため、今後も継続した取組を進める必要がある。				